

公共交通を利用する5つのメリット

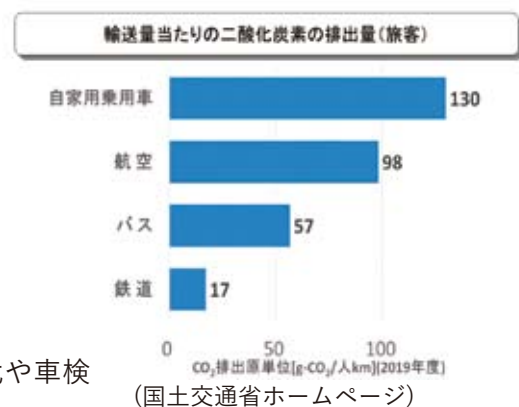
1 未来の公共交通を守ることができる

私たち一人ひとりが将来の自分、さらに次の世代のことを考えて、日頃から公共交通を利用することで、子どもや孫たちが利用する未来の公共交通を守っていくことができます。



2 公共交通は環境にやさしい

一度で多くの人が乗車できる公共交通は、1人当たりの輸送にかかる二酸化炭素の排出量が自家用車よりも少なくなります。バスであれば、自家用車の半分以上、電車であれば、7分の1以下になります。



3 公共交通の利用は家計にやさしい

自家用車を維持するためには、車両の購入費のほか、ガソリン代や車検代、保険料等さまざまな費用がかかります。

一方、公共交通の利用は、必要な費用は主に運賃のみの経済的にやさしい乗り物です。

4 公共交通の利用で健康増進

徒歩での移動距離が短い自家用車に比べ、公共交通を利用するとバス停や駅からの移動で、歩く機会や距離が増えて日常的に運動量が多くなり、健康増進に繋がります。



5 事故のリスクの回避

電車やバスの事故による死者数は、自家用車と比べて10分の1以下です。自家用車の代わりに公共交通を利用する人が増えれば、自分が事故を起こす、または自分が事故に巻き込まれる確率を減らすことに繋がります。



地域の移動手段を守るために・・・



神姫バス株式会社 バス事業部計画課
地域公共交通担当課長 竹内宏さん

当社は、路線バスや高速バス等の「移動サービス」を中心に、「不動産・建設」「観光」「子育て」「介護」等、まちづくり、地域づくりに必要なサービスを提供することで、地域に貢献し、地域とともに発展する企業を目指しています。

乗合バスの状況としては、初めて緊急事態宣言が発出された令和2年5月には、路線バスの旅客者数が前年の40%まで減少し、それ以降、今日まで70～80%で推移し、非常に厳しい状況となっています。

コロナ禍においても、バスを必要とされる市民のみなさまのために、安心してバスに乗っていただけるよう、車内の消毒や換気、また、乗務員の手指消毒、健康管理等に取り組んでおりますので、みなさまのご利用を心よりお待ちしております。

次世代に繋いでいくために・・・



11月11日、社小学校2年生約100人を対象に、市と神姫バス株式会社による「バスの乗り方教室」を開催しました。

児童は、バスの死角の体験や、ICカードを使って乗車する方法、運賃を確認する方法等を学びました。

「どうやって時刻表通りにバスが来るの？」や「なんで運転手さんは帽子をかぶっているの？」等の質問をしたり、運転席に座ってハンドルを握ったりする等、児童は路線バスに興味津々でした。

また、教室を終えて、「大きくなったら、バスに乗って1人でお出かけしたい！」「友達と一緒にバスに乗って、動物園に行ってみよう！」と話す児童もいました。

公共交通機関の1つである路線バスに興味を持ち、身近な移動手段であることを感じてもらうとともに、子どもたちの体験を通じて、その家族の公共交通の利用に繋げていくために、今後もバスの乗車体験を実施していきます。



乗って守ろう公共交通

公共交通を未来に残していくために、私たちに何ができるか考え、できることから取り組んでいきましょう。